

ウミネコ繁殖地としての経島

日御碕のすぐ前にある小さな島は、経島と言い、この島はウミネコの生息地として重要な島です。経島は経文の島という意味で、この島の名前の由来は、島の地表に見える柱状節理として知られるプリズムの形をした垂直の岩が、仏教經典の巻物を一緒に積み重ねた形に似ていることにあります。毎年11月に、およそ3000羽のウミネコが経島にやって来ます。4月から5月にかけて、ウミネコはここで産卵し、雛をかえします。そして、7月頃、ウミネコは北へと旅立って行きます。1922年に、日本海に面する西側の海岸がウミネコの繁殖地として日本の天然記念物に指定されました。